

I 研究発表

日 時： 11月4日（日） 午前9時～11時30分

場 所： (A会場) 鹿屋体育大学 講義棟 204 教室（2階）
(B会場) 鹿屋体育大学 講義棟 205 教室（2階）

発表時間： 1演題の発表時間は12分とし、質問と討論時間を3分とする。

{ 10分（発表終了 2分前） ベル1回
12分（発表終了） ベル2回
15分（質疑終了） ベル3回

(A 会 場)

講義棟 204 教室

No.	分類	発表時刻	発 表 演 題	演 者	所 属	座 長
1	原論	9:00	高齢化社会におけるスポーツ・レクリエーションの対応に関する一考察	後藤 哲也	中京大学 大 学院	秋吉 嘉範 (福岡教育 大学)
2		9:15	宗教活動のもつレクリエーション要素について ～レクリエーションの生活化 からのアプローチ～	田中 一行	尼崎南 高等学校 良元分校	
3		9:30	ジョルジュ・バタイユの視角からと られたスポーツ・レクリエーション	芳賀 健治	東京家政 学院大学	
4	行動研究	9:45	児童の心理的特性と親の養育態度、 感覚教科目の好悪、成績との関係 ～一次集計による基礎的考察～	梅津 妙子	女子聖学院 短 期 大 学	今井 敏 (日本体育 大学)
5		10:00	子どもの体育教室参加に伴う遊び生 活の変容	綿田 育代	日本 大 学	
6		10:15	スポーツ参加と職場環境への適応	増田 慧	日本 大 学	
7		10:30	スポーツ参加と従業員の生きがい	今野 守	日本 大 学	
8	研究	10:45	老後における余暇に関する一研究 ～サークル所属者と非所属者 との相違について～	鶴見 勝博	中京 大 学	永吉 宏英 (大阪体育 大学)
9		11:00	スポーツ・レクリエーション行動研 究における方法論考察 I ～活動参加調査における 回答誤差に関する研究～	原田 宗彦	ペンシル ベニア州立 大 学	
10		11:15	肢体障碍大学生の障碍部位別による 体育活動興味調査研究	金 命祚	釜山 大学	

(B 会 場)

講義棟 205 教室

No.	分類	発表時刻	発表演題	演者	所属	座長
1	資源・計画論	9:00	欧米における余暇・レクリエーションに関するデータベースと文献情報検索システムについて	山口 泰雄	鹿屋体育大学	
2		9:15	浜名湖地域における水域利用拠点の適性配置に関する調査	毛塚 宏	ラック計画研究所	西野 仁 (東海大学)
3	政策研究	9:30	フィットネス運動に関するシステム・アプローチ	横山 文人	筑波大学大学院	
※ 4	ブローグ	9:45	新聞記事にみる「緑のレクリエーション活動」の成立とその特性	伊藤 俊哉	ダイヤモンド造園技研	
※ 5		10:00	リハビリテーション病院におけるレクリエーション(第2報) ～レク・アンケートを実施して～	金野 智秀	鹿教湯病院	草川 一枝 (滋賀大学)
6		10:15	保育所における健康・体力づくりに関する試み ～体力測定結果の指導へのフィードバックについて～	深代 千之	鹿屋体育大学	
7	ラム開発	10:30	学校レクリエーションの視標	稻垣 保彦	富山大学	
8		10:45	地域における家庭婦人ソフトボール・クラブ活動の特に技術面についての一考察	大杉 淳子	作陽音楽大学	
9		11:00	高齢化社会における指導者養成(横浜市)についての一考察(第2報)	角田 享子	淑徳保育生活文化専門学校	田中 祥子 (津田塾大学)
10		11:15	余暇生活診断法の開発に関する研究(1) ～既存余暇生活関連診断法の内容分析～	今井 豊	日本体育大学	

* スライド使用